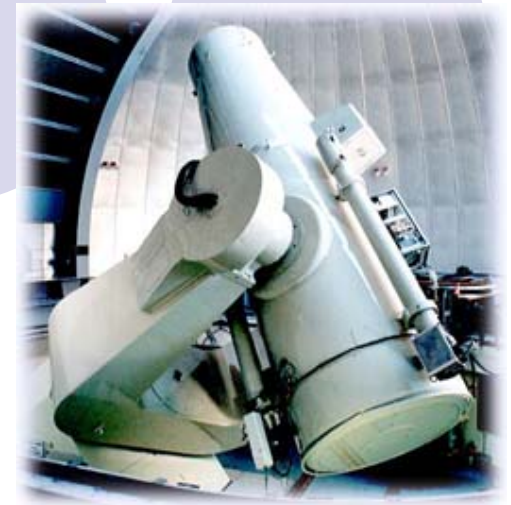


観測所概況 (AY2011-)

小林尚人

1. 体制
2. 共同利用(研究)
3. 教育
4. アウトリーチ・広報
5. 開発
6. 将来に向けて



1. 体制 (AY2011-)

✓ 運営体制

ほぼ完成形に

- 所長：土居
- 副所長(運営)：小林
- 開発：酒向
- KWFC 運用：諸隈 **パイプライン&観測システム、超新星サーベイ(KISS)**
- サイエンス：松永 **データ解析&観測支援、銀河面サーベイ(KISOGP)**
- 教育・アウトリーチ・広報：三戸、宮田
- 観測所スタッフ：青木(チーフ)、征矢野、樽沢
田中由、中地、村山
- 事務スタッフ：橋口、上野

合計： 15名 [うち現地スタッフ8名(下線)]

✓観測所ホームページ

継続的・頻繁にアップデート

- ホームページ: <http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp>
- ユーザー wiki: <http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisouser/pukiwiki>

東京大学天文学教育研究センター
木曾観測所
KISO Observatory
Institute of Astronomy, The University of Tokyo

このたびの東北地方太平洋沖地震により被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復旧をお祈り申し上げます。木曾観測所では被害はありませんでしたが、震災とそれに伴う広域での停電や交通機関の混乱が生じていることに鑑み、3月24日から開催を予定していた全国の高校生向けの銀河学校を延期することにいたしました。時間をおくことで、一人でも多くの皆さんが参加できるようにすることを願っております。
木曾観測所長 土居 守

お知らせ
◆今年度の特別公開は、8月6日(土)と7日(日)に開催します。8月6日夜には天体観望会も行います。また、6日の15時から、JAXAの安部正真さんによる小惑星探査機「はやぶさ」についての講演があります。くわしくは、[こちら](#)をご覧ください。
◆木曾観測所も参加する「大学間連携による光・赤外線天文学研究教育拠点ネットワーク」について、プレスリリースがありました。
◆木曾シュミットシンポジウム2011を7月13日(水)と14日(木)に開催します。
◆延期となっていた銀河学校2011を8月9日(火)から12日(金)の日程で開催することに決定いたしました。

研究者の方はこちら
学生・院生の方はこちら
高校生の方はこちら
一般・社会人の方はこちら
報道関係の方はこちら
English Page

画像の使用について | お問い合わせ |

FrontPage - Kiso Obs. Usr. x
www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisouser/pukiwiki/
SAO/NASA ADS C... The Astrophysica... The Astronomical... 雨量情報(6分で... その他のブックマーク

FrontPage
http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisouser/pukiwiki/index.php?FrontPage
[トップ] [編集] [凍結] [差分] [バックアップ] [添付] [リロード] [新規] [一覧] [単語検索] [最終更新] [ヘルプ]

Menu

- FrontPage
- 2kCCD情報
 - フラット・ゲイミ
 - 感度ムラの補正
 - 解析マニュアル
- 解析研究会
 - バイアスに関する情報
 - フラットに関する情報
 - その他
- KWFC
 - Altair
 - KISOGP
 - KISS
 - software
- 望遠鏡情報
- kisostaff
 - シュミットシンポジウム
 - 共同利用手続
 - 年間日程
 - 銀河学校準備

編集

References

- PukiWikiのタグ

編集

更新の20件

2012-07-09
VIEW / PACE

木曾観測所ユーザーのためのwiki!
〜木曾観測所のホームページはこちら〜

2kCCD情報!

- 木曾観測所2kCCDに関する情報です。
- 2kCCDのバイアス、フラット処理に関する情報、データ解析の手法に関する情報をアーカイブすることを目的としています。みなさま、様々な情報をお寄せください。

KWFC!

- 現在開発中のKWFC (Kiso Wide Field Camera)に関する情報です。

望遠鏡情報!

- 木曾観測所105cmシュミット望遠鏡に関する情報です。

木曾観測所における成果!

- 年次報告
東大・天文学教室+天文センターが毎年発行する年次報告から木曾観測所に関する部分を抜き出したものです。
 - 年次報告2011年度版 (これから作成、皆様よろしくお願います。)
 - 年次報告2010年度版 [KisoNenji2010.pdf](#)
 - 年次報告2009年度版 [KisoNenji2009.pdf](#)

2. 共同利用 (AY2011)

✓一般共同利用プログラム

28 課題 (うちショート 7 課題)

- ▶ 東大は約 1 割 全国共同利用が主
- ▶ ショートによる新規ユーザーの開拓 この5年で十分役割を果たせた
- ▶ AY2012 から新規公募方式 共同利用としての中身は変化なし

✓研究者訪問 183 人・訪問 / 年

- ▶ 以上 2000 年からおおむね定常的 (この年度は、KWFC 関連で一時的に増加)
- ▶ 共同利用機関として十分に活動的

2. 共同利用統計(この10年)

✓ 夜数

	〈 割当夜数 〉	〈 観測夜数 〉	効率	〈 晴天夜数 〉	晴天率
○ AY2003	289-nights	151-nights	52 %	-----	---
○ AY2004	284-nights	151-nights	53 %	-----	---
○ AY2005	129-nights	87-nights	67 %	-----	---
○ AY2006	198-nights	126-nights	64 %	-----	---
○ AY2007	168-nights	90-nights	53 %	66-nights	35%
○ AY2008	261-nights	125-nights	48 %	-----	27%
○ AY2009	319-nights	152-nights	48 %	-----	30%
	(注) 半夜観測を2度カウント				
○ AY2010	358-nights	167-nights	47 %	-----	34%
	(注) 半夜観測を2度カウント				
○ AY2011	286-nights	100-nights?	35 %	62-nights?	22%
			4-5割		3割

✓ AY2008 からほぼフル稼働を継続

- AY2011 は、エンジニアリング観測(トラブルシュート)、悪天候により効率わるし

2. 共同利用成果(この5年)

✓ 論文: 約5本 / 年 (refereed journal)

- 主に太陽系天体・星団 シュミット広視野を活かすサイエンス
- 小望遠鏡としては合格? **みなさまのよー一層のご精進(?)を期待**

✓ 定常的な学位取得者

➤ 卒業論文 約3人 / 年

2011年度は佐々木さん・吉澤さん(日本女子大)

➤ 修士論文 2-3人 / 年

2011年度はなし??

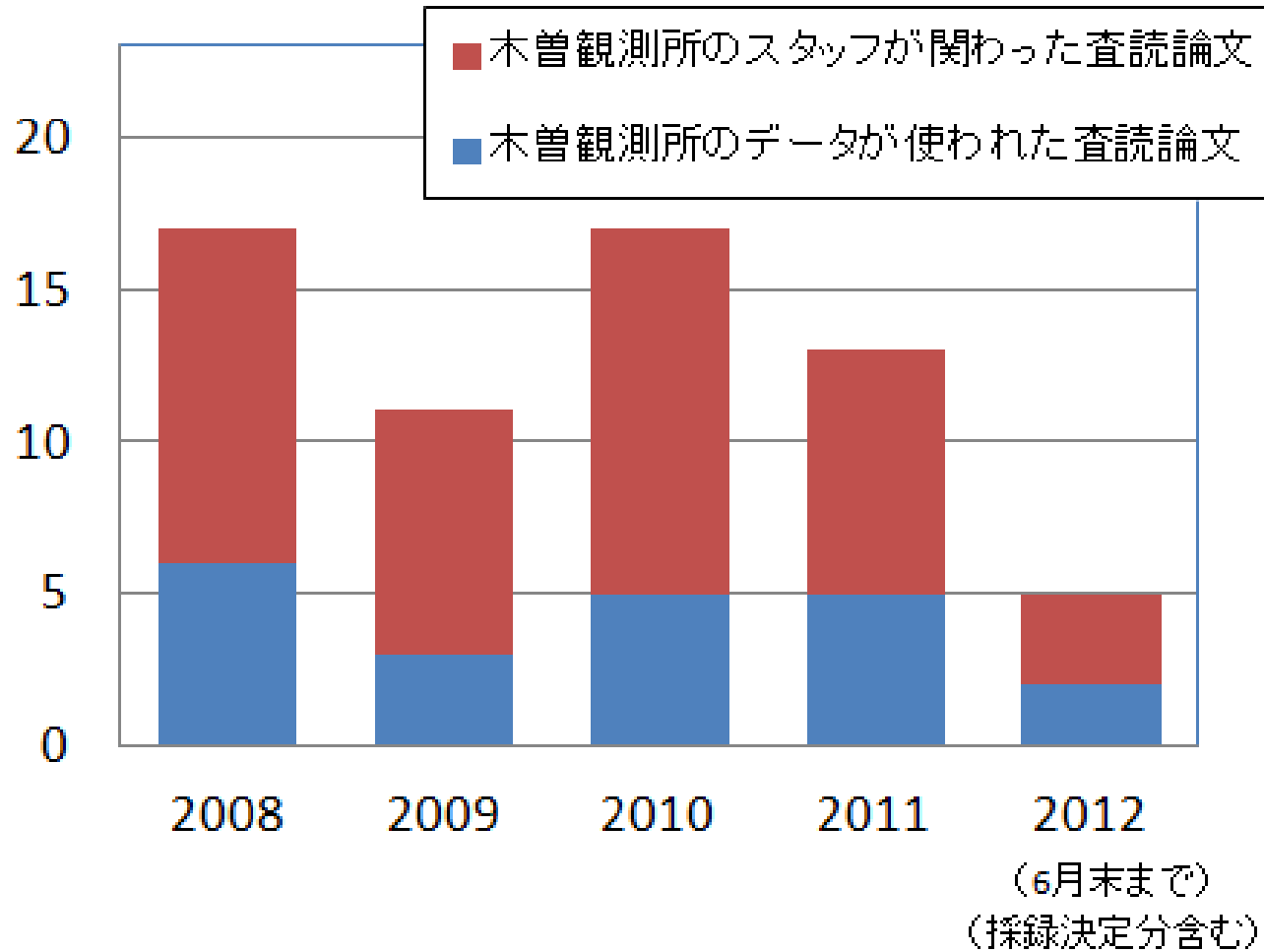
➤ 博士論文 1人 / 2-3年

2010-11年度は Chauhan さん、Jose さん (Kumaon Univ, India)

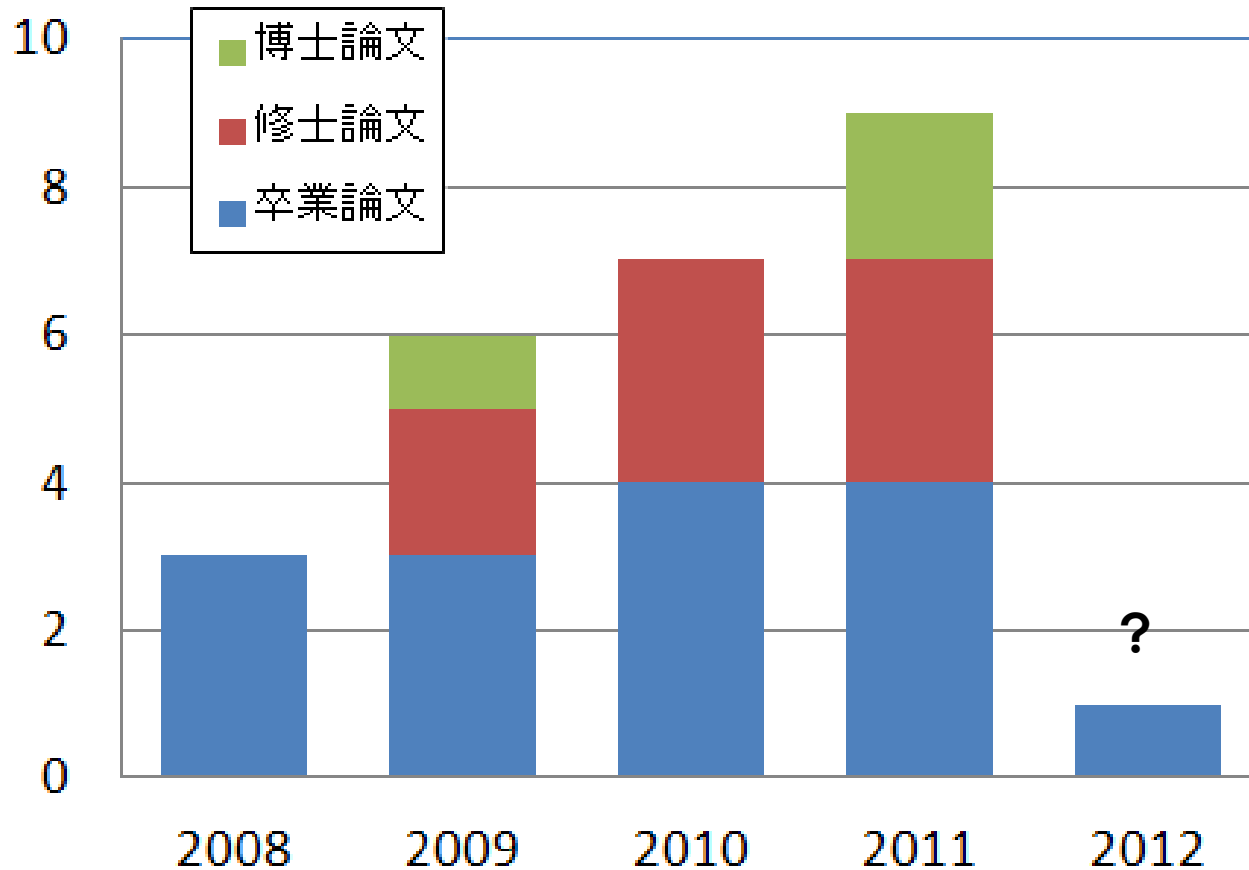
今後は家中君(東大)、…

おめでとうございます。もし抜けていたらぜひご連絡を…

査読論文数



学位論文数



(3月末まで)

2. 新規共同利用の開始 AY2012-

✓KWFC の定常運用を開始

- 無事スタート **みなさんのサポートに感謝いたします**

✓公募方式を整理して新たに

http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp/OPENUSE/openuse_a.html

- 小望遠鏡のフレキシビリティを活かす方式を検討・試験的实施
- 3ヵ月毎に一般枠応募可能に **一般枠とショート枠の区別をなくした**
- 「(長期)モニター枠」を導入
- プログラム継続の人は書く手間が少ないように

✓大規模プログラムの実施

- 観測所主導。コミュニティの常時オープン参加。
- 早速スタート… **順調に成果を出しつつある**

■ **AY2012-2014 2プログラム KISS : 諸隈、KISOGP: 松永**

- 年間 100-150 夜程度を見込む(共同利用と同程度)

3. 教育 (AY2011)

✓大学生実習: 7大学

➤ 東大: 天文学科3年生(ほぼ全員) (7月)

● 岡村&征矢野「乾板データ」 **岡村先生最後の実習**

● 小林、松永、三戸ほか「CCDデータ(+観測)」プリズム分光

➤ 東大: 天文学科1-2年生(約20名) (8月)

● 宮田ほか「全学体験ゼミナール」約20名

➤ 日本女子大, 東京学芸大 (8月)

● 約20名、卒業論文2名(日本女子大)

➤ 文教大, 三重大, 和歌山大 (9月)

● 約25名、和歌山大学初参加

➤ 甲南大 (3月)

● 約7名、初参加

➔ AY2012- 信州大? (共同利用観測を通じて) **ご希望ありましたらいつでも小林まで**

✓大学院生教育

➤ 共同利用(一般枠・ショート両方)を通じて

➤ 新規学生も定常的に

4. アウトリーチ・広報 (AY2011)

✓パブリック・アウトリーチ 三戸&宮田

日本の天文(科学)コミュニティ内でも最も活発

地元
高校生 ● 理科教育プログラム SPP/SSH

各高校が JSPS に応募する形態に移行

5高校 約 180 名「ビッグバン宇宙の年齢」

全国
高校生 ● 銀河学校 2011 2011.8.9-12(震災により延期して実施) 酒向ほか 27 名

● 銀河学校 2012 2011.3.27-30 三戸ほか 27 名

小中高
一般 ● 特別授業・講演・観望会・見学等 24 回

三戸、青木、征矢野、樽沢、松永、中田(星の会)

一般 ● 特別公開 (8/6-7)

200 名以上の参加

JAXA 安部氏(はやぶさ)、東大松永氏講演

一般 ● 新聞記事 14 件



銀河学校 2012 の
1シーン

5. 開発 (AY2011)

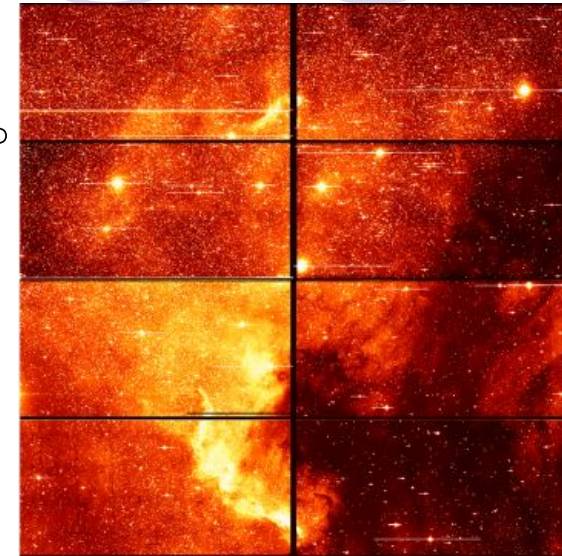
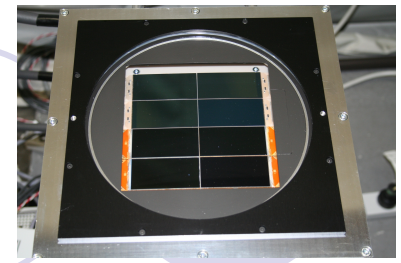
✓KWFC 酒向、青木、征矢野、樽沢、ほか

- 開発終了。公約通り AY2012 共同利用へ。
- 仕様通りの感度。(ほぼ)安定した動作。
- 充実した装置を目指した整備
(例)データシステムの整備(諸隈、松永、ほか)
(例)フィルターの実験(三戸、ほか)

✓リモート観測 青木、酒向、ほか

- 着々と準備中
(例)気象監視システムの整備 (諸隈、征矢野、ほか)
- 望遠鏡動作の安定化が重要 → 制御系改修を検討
- 次年度 (AY2013) ? に試験観測を実施
- 次々年度 (AY2014) ?? から完全リモート化 来所観測も歓迎

これで基本的な開発は終了になる //



北アメリカ星雲(NGC7000)

6. 将来に向けて

● 中小望遠鏡として最適の研究施設へ (50%)

広視野サーベイサイエンスの国内拠点

- ▶ KWFC+リモート観測による定常運用
- ▶ 共同利用と大規模プログラムを併せたスタイルを継続

● 実習・アウトリーチに最適の教育施設へ (50%)

天文教育の国内拠点の1つとして

- ▶ 合宿型教育がユニーク
- ▶ 受け入れの中心地に(高校実習、大学実習)
- ▶ すでに安定フェーズ?

✓ 上記をサポートする施設整備を推進中

- ▶ 研究者の快適な滞在型研究施設として(避暑・セミナー等)
- ▶ 旅館法営業(2012.4-)： 宿泊システムが少し変更
- ▶ 大学による包括的な整備： 水道工事等 **ご迷惑お掛けしました…**
 - 今後も、暖房工事、等々。 **施設としてのご希望をぜひお寄せください**